

「医学系研究に関する情報公開」

人工膝関節置換術における膝窩神経叢ブロックとIPACKブロックの術後足関節運動筋力のランダム化比較試験

1. 研究の対象

2023年12月～2025年3月に、当院で人工膝関節置換術を受けられる予定の方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的

当院では人工膝関節置換術の術後の痛み止めに、神経の周りに局所麻酔薬を注入して感覚を鈍くする「末梢神経ブロック」を用いています。痛み止めの手法の中で強力かつ副作用が少ないとされています。

膝の表側の痛みは、大腿中間部に行く神経ブロックで抑えられます。膝の裏側の痛みを抑えるには、膝の少し上、内側にある部位に神経ブロックを行うことで痛みが少なくなるとされています。膝窩神経叢ブロック、IPACKブロックの2種類があり、非常によく似た方法です。

患者さんにとってブロックを行う場所の違いが、足関節の運動にわずかな変化を来す可能性があるため、これを比較して検証するとともに、術後の痛みを抑えて、リハビリテーションをスムーズに行う事が出来ることを証明することを研究の目的とします。

方法

術前に足関節の筋力を測定します。手術当日に全身麻酔と神経ブロックを手術室で行います。ご参加くださった患者さんには、膝窩神経叢ブロックもしくはIPACKブロックのいずれかを、どちらのブロック注射を行ったかわからないように行います。術後、当日と翌日に足関節の運動を再び測定します。そのほか、手術後の痛みの経緯、リハビリテーションの進み具合、鎮痛薬の使用状況などを調査します。

研究期間 2023年12月～2025年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの診療情報を使用します

一般的な情報：

年齢、性別、身長、体重、カルテ番号、手術経過、病歴など

術後の観察項目：

